

駅周辺の合流式公共下水道の管渠 標準耐用年数迫り段階的に改築

議員 平塚駅周辺は汚水と雨水を同一の管渠に集めて処理をする合流式下水道区域となっている。この区域は下水道事業を開始してから四〇年以上経過しているが、老朽化した管渠の改築方針について伺いたい。

下水道部長 昭和三十九年度に国から認可を受けて工事に着手した合流区域の公共下水道は、五〇年といわれる管渠の標準耐用年数に近づいており、段階的に下水道管渠施設の改築を行う必要がある。そのため、十五年度から三年間で、総合的な維持管理計画である「合流区域・管渠改築計画」を策定した。この計画によると、合流区域の管渠(延長約一〇四キロ)の内、



老朽化が進む管渠

四〇キロ程度の改築が必要であり、緊急性の高いものから順次改築を実施することとした。なお改築に当たっては、老朽管の中に新たに自立の更正管を形成する管渠更正工法を採用する予定である。

議員 駅周辺地区以外の区域の老朽化した公共下水道施設はどのように改築していくのか。

下水道部長 標準耐用年数に近づいた管渠の敷設区域から管路状況を調査し「管渠改築計画」を策定して対応したいと考えている。また、ポンプ場

は標準耐用年数が一五年であり、東部と桜ヶ丘のポンプ場は改築を実施済みであるが、その他のポンプ場は老朽化の診断を実施し、計画的に改築を進める予定である。

農業集落排水事業 土沢地区で実施

議員 生活環境の改善等を図るため、数集落単位で汚水を集め、処理後に農業用水路等へ排水する農業集落排水事業の概要を伺いたい。

下水道部長 農業用排水の水質保全等を目的とし

た農業集落排水事業は、土屋地区と吉沢地区に農業用排水や家庭からの排水を処理する施設を建設し、各家庭への管路施設を一〇年間で整備する事業である。

議員 土屋・吉沢地区の施設整備等の工事予定を聞きたい。

下水道部長 土屋地区については、十八年度に管路施設の工事に着手し、二十一年度まで処理施設の工事を進め、二十二年年度から供用開始を予定している。また、吉沢地区については十九年度

から管路施設の工事を開始し、処理施設の工事は二十一・二十二年度を予定している。なお、総事業費は一億円を見込んでいます。

議員 対象地区の住民から受益者の負担額の軽減要望があると聞くが、宅地内の設備工事に対する助成の考えを聞きたい。

下水道部長 宅地内の工事には、公共下水道で実施している現在の助成制度や先進市の事例等を参考に、二十二年年度までに規則を制定し、助成していく考えである。

富士見地区の道路整備

市の設計委託に 地元提言どう反映

浅間町南原線(幹道二〇号)の歩道を一・二メートルに五メートルに拡幅するに聞いている。この計画については、地域住民がワークショップ方式で整備の在り方を検討しているとのことだが、検討経過を伺いたい。

道路部長 この道路整備に関しては、平成十七年四月に富士見町まちづくり協議会が中心となり、一九人のメンバーに市職員三人がオブザーバーとして参加し、「四号・二〇号線道づくりの会」を発足させた。この会では、

まちづくりアドバイザーの助言を得ながら道路整備の在り方を話し合い、交通量調査を実施するなど延べ一〇回の検討を行い、平成十七年一〇月末に「富士見町四号線・幹道二〇号線道路整備のあり方」に関する提言書を市長に提出した。

議員 提言書の内容は道路整備の設計調査委託に反映できるのか。

道路部長 市では提言内容を基本として、県や江南高校の意向把握、学校関係者と道づくりの会の意見調整を図り、設計調査の委託内容の最終的な取りまとめ作業を行っている。

議員 二路線の道路整備についてのスケジュールを伺いたい。

道路部長 十八年度には幹道二〇号線の歩道整備を優先的に実施する予定であり、十九年度から富士見町四号線の歩道道の総体的な整備を行う予定である。

安定的な経営が鍵 農業の「担い手」育成策聞く

議員 国の新たな「食料・農業・農村基本計画」では、全農家を対象とした従来の品目的価格政策を改め、十九年度から農業の「担い手」を効率的で安定的な経営を目指す農

家や法人などに絞り、経営に着眼した品目横断的な経営安定策を導入することである。本市では認定農業者で二・八割、集落営農等で一三・八割となる農家の経営規模は

どのくらいか。

経済部長 経営規模要件の特例により、本市では認定農業者で二・八割、集落営農等で一三・八割となる農家の経営規模は

どのくらいか。

議員 担い手の育成と確保にむけた本市の方策を聞きたい。

経済部長 本市の農業は稲作主体の土地利用であり、担い手の育成には、地域の土地の特色や農家の経営実態等を詳細に把握する必要がある。また、多くの経営者からの農業に対する意欲等を施策に反映させた「平塚モデル」のような育成策の実施も重要と考えている。今後は、農業協同組合の地域農家組織等と連携を深め、次代の平塚農業を担う人材育成を図っていく。

議員 本市で経営安定策の対象となる担い手の農家数を聞きたい。

経済部長 規模要件の近似値である三戸を超える家族経営農家は一三経営体にとどまっている。

議員 相模川河口で、砂州の地形変化による航路閉塞を防ぐために、航行の状況を確認したい。

経済部長 十七年度に本体内工事六五戸を完成させ、十八年度に一五戸を施工することによって、合計で全長八〇メートルの本体工事完了する予定である。

議員 中導流堤の設置により、河口の砂州の形状

はどのようになるのか。

経済部長 河口部の構造は大変複雑であり、自然条件の変化による砂州の一部流出が考えられる。流出した砂州の再生・移動を再現・予測することは困難だが、十七年度は着色砂を数箇所投入し、砂の動きを調査している。

船舶等の事故防止策

議員 相模川河口でのレ

ジャー利用者の船舶と漁船等との事故防止対策を伺いたい。

経済部長 都市整備部長 民間のボランティア団体である相模川水難救済会平塚救難所を中心に、水産団体、レジャー団体等による水上パトロールを実施し、「海・川・浜のルールブック」を配布している。今後も各団体との連携を図るとともに、地元漁業関係者の意見を参考に事故防止に取り組

伝統誇る七夕まつり

新たな企画で平塚の財産継承

議員 平塚の夏の一大イベントである「湘南ひらつか七夕まつり」は平成十八年で第五六回を迎える。この七夕まつりの開催期間を、昨年の四・五日間から今年は四日間短縮する理由を聞きたい。

経済部長 商業観光課 長代理 昨年の第五五回湘南ひらつか七夕まつりは初日の正午から交通規

制を行ったが、午前中に交通渋滞が発生し、一時混乱が生じた。また、社会状況や市民要望も多様化していることから従来どおり五日間の開催とす

るか検討が行われ、湘南ひらつか七夕まつり実行委員会において四日間の開催と決定された。

議員 七夕まつりに関心の低い市民の増加等によ

り、さらに期間が短縮される事態も考えられる。平塚の財産として存続させていくためには、子供たちの心に七夕まつりを平塚のよき風物詩として残せるような事業が必要と考えるが、見解を聞きたい。

経済部長 七夕まつりを今後、五〇年、一〇〇年と継承していくためには、

子供たちに七夕まつりと触れ合う機会を増やす必要があると認識している。例えば、企業の協賛等による湘南ひらつか七夕まつり写真コンクールに「我が家の竹飾り」等の部門を設けるなど、各家庭手作りの、温かみのある小さな竹飾りの掲出が増えるような企画を実施することも考えられる。今後も子供たちの心に七夕まつりの記憶が残るような企画を考えていきたい。



規模拡大求められる耕作農地

市内の遊休農地 発生防止と解消法

議員 平成十七年九月に

議員 相模川河口で、砂州の地形変化による航路閉塞を防ぐために、航行の状況を確認したい。

経済部長 十七年度に本体内工事六五戸を完成させ、十八年度に一五戸を施工することによって、合計で全長八〇メートルの本体工事完了する予定である。

議員 中導流堤の設置により、河口の砂州の形状

はどのようになるのか。

議員 遊休農地の発生防止や解消に向けた対策を聞きたい。

農業委員会事務局長 農地所有者には随時、意向調査を実施しており、放置状態の継続を防ぐために耕作意欲のある担い手への貸し出しや売買を推進していく。また、体験農園等の実施も模索していきたい。

はどのようになるのか。

議員 遊休農地の発生防止や解消に向けた対策を聞きたい。

議員 遊休農地の発生防止や解消に向けた対策を聞きたい。

議員 遊休農地の発生防止や解消に向けた対策を聞きたい。